

講座で話してほしい内容

★土や肥料について

- ・土や肥料の種類、タイミング
- ・植物毎に適した土と肥料
- ・土の入れ替え

土の種類

壤土 ⇒普通の一般的な土⇒黒土、赤玉土、その他

砂壤土⇒砂利石の小さい粒⇒パーライト、バーミキュライト等

粘質土⇒粘り気が多く水分を多く含む土⇒荒木田土等

肥料 ⇒有機質肥料、無機質肥料、化成肥料、液肥

有機質肥料⇒油粕、魚粕、米ぬか、鶏糞、牛糞等

無機質肥料⇒窒素、リン酸、カリ等の単肥として使う

化成肥料⇒人工粕に無機質肥料を合成して作った肥料⇒主に鶏糞等
液 肥⇒無機質肥料、有機質肥料を水に溶かし混合液としたもの

性質

- ・有機質肥料はゆっくり吸収されるものが多く原肥として利用する
- ・化成肥料は水に溶けやすく、早く吸収されやすいので追肥に使うことが多い
- ・液肥は植物全体から吸収されるように作られているので、いつでも、どこでも使いやすい

植物に適した土

- ・水はけがよく、土中の通気性のあるもの⇒水はけ等が悪いと根腐れを起こしやすい
- ・有機質が多く入っている土は土中の肥料を長く保ち、水分を保持しやすい土がよい

- ・植物が生長していくときに土の酸性度を適した土にするように酸度調整した土が良い
- 酸性度に生育する植物⇒オリーブ、ツツジ等
- 中性度に生育する植物⇒ほとんどの植物が育ちやすい
- 弱酸性に生育する植物⇒ほうれん草、豆類、小麦

土の入れ替えと植え替えについて

鉢、プランター等を利用したときは、植物の性質に合わせてやる

- ① 根詰まり⇒生長の早いものは一年一回位行う
 - ② 大きくなりすぎ⇒上部が大きく、根本が小さいと風等で倒れやすかったり、土中の水分が少なく枯れたりすることがある
 - ③ 連作障害によるもの⇒土中の肥料、分、酸度、病気等による障害を防ぐため⇒日本桜草、山野草等
一年に一回行うと良い
- 一年草と多年草と一緒に植えてあるときの植え替え
一年草は季節によって生育するので時節に合わなくなったものは早めに抜き取り次のものを入れる
その時は大きめに抜き取り多めの土の入れ替えもする

★日当たりが良くない環境での対処法（家が西向きで午後しか陽が当たらない）

- ◎実をつけたり花を多く咲かせたりするものは日照時間が長いほうが良いものが多い
- ◎常緑性の植物か多肉類かセダム等が合うと思う

★マンションベランダでみどりを育てるときの注意点

- ◎風通しが悪いときは病害虫が多く発生しやすいのでカイガラムシ、アブラムシ等に気を付けて早めに防除する
- ◎西日を防ぐ日除けをする⇒80%遮光のものを張る

★アブラムシ、コバエなど虫を防ぐにはどうしたらいいか (マンションの上の階でも毎年虫に悩まされる)

- ◎アブラムシは春先から外部からの侵入によるので早めに防除する
- ◎コバエは発生源を探し防除する⇒植物等の腐ったものに産卵するので台所の残物を処理する
- ◎どちらも耐性を作るのが早いので数種類の薬を用意する

★家庭でもイチゴをうまく育てるコツがあれば教えてほしい

- ◎イチゴは屋外で育つ植物なので日照量、温度管理と花粉をつけてやる
- ◎花芽分化は 15℃以下で 13 時間以上 (8 時間くらい夜の時間を作ってやる)
- 約 25~29 日位で花芽ができる⇒9 月下旬頃から

★観葉植物を形良く育てるための枝の切り方

- ◎剪定は内側になる枝を切る⇒春~秋までに行う

★剪定の目安について教えてほしい 果実、花木、落葉、常緑

- ◎庭木は 常緑樹は 3 月下旬より 5 月中旬頃
落葉樹は 10 月下旬より 2 月下旬頃
- ◎もみじ類は 11 月下旬~1 月上旬まで

果実、

◎花芽（大きな芽）を見ながら切る

◎柑橘類は前年に伸びた枝に花芽がつくので、古い枝（短枝）を残し、大きな選定はしない

花木、

◎前年に伸びた枝で花芽を探しながら切る

★寄せ植えの一部を入れ替えるときにどの程度根を切ってしまうても大丈夫か

◎元の株より 2~3cm 大きく取り残った根を取る

◎引き抜くのではなく根の周りを移植コテで一回り根切をしてから抜き取る

★夏に植物を枯らさないポイント 夏の管理

◎水やり⇒朝か夕方、温度が下がってからやる

もし、しおれてしまったときは日陰に入れて十分水をやり、夕方まで影に置く

◎日除け（寒冷紗）をする

◎肥料は少し控える

★猛暑時期の寄せ植え、水の与え方、長持ちする方法 日除け（寒冷紗）

↓

見本(日本、農薬、肥料

◎日除けを作り、作るときに夏の時期に強い物同士を選んで植える

★寄せ植えについて

- ・土の量や苗木の間隔、植える力加減、手入れや水の量など
- ・寄せ植え後の手入れの仕方
- ・花の相性
- ・相性の良いハーブの組み合わせ
- ・子どもと寄せ植えをするときに気を付けるべきこと

寄せ植えをするときに気を付けること

冬～春は株がそれほど生長しないのでかなり密に植えても大丈夫

水やりは乾いたらやるくらい

夏～秋はそれぞれの株が大きくなったり水きれになったりしやすいので、間を取り同じ環境に育つものを植える

水やりは乾く前にやり、日陰を作ってやる

子どもさんと一緒に作業するときは、けがをしないようにし植物を傷めないようにしてください